

**・海外感染症流行情報 2018年9月号**

**（1）韓国で MERS 患者が発生**

韓国で中東から帰国した男性が中東呼吸器症候群（MERS）にかかっていることが明らかになりました（WHO Disease outbreak news 2018-9-12）。この患者はクウェートに3週間滞在し、9月7日、仁川空港に到着しました。肺炎の症状があったためソウル市内の病院に運ばれ、そこで診断がつかしました。9月25日の時点で二次感染者は出ていません。韓国では2015年に186人の患者が発生する MERS の国内流行がありました。今回は早期に対応がされており、流行は拡大していない模様です。

**（2）パプア・ニューギニアでポリオ患者発生**

パプア・ニューギニアの首都ポートモレスビー近郊で、男児（6歳）のポリオ患者が確認されました（英国 Fit For Travel 2018-9-11）。パプア・ニューギニアでは5月以来、ポリオ患者の発生が報告されていますが、首都近郊での患者確認は初めてです。日本の外務省は、同国を含めポリオ発生国に滞在する者に、ポリオワクチンの追加接種を推奨しています（外務省海外安全ホームページ 2018-9-3）。

**（3）コンゴ民主共和国でのエボラ熱流行**

コンゴ民主共和国・北東部で8月に発生していたエボラ熱の流行は、9月も続いています（WHO Disease outbreak news 2018-9-21）。新規患者の数は9月になり少なくなっていますが、ウガンダ国境近くの大都市 Butembo 近郊でも複数の患者が確認されています。9月中旬までの累積患者数は142人で、このうち97人が死亡しました。

**（4）アフリカ各地でコレラの流行が発生**

アフリカ北部のアルジェリアで8月初旬からコレラが流行しています（WHO Disease outbreak news 2018-9-14）。首都アルジェなどを中心に9月上旬までに200人以上の患者（疑いを含む）が確認されました。同国では20年ぶりの流行になります。アフリカ南部のジンバブエでも、9月から首都ハラレなどでコレラが流行しています（WHO Disease outbreak news 2018-9-20）。9月中旬までに患者数は3,600人（疑いを含む）にのぼり、32人が死亡しました。コレラには経口ワクチンがあります。日本では未承認ですが、一部のトラベルクリニックではこれを輸入し、希望者に接種しています。流行地域に滞在する際には接種を検討してください。

**（5）ヨーロッパで西ナイル熱が流行**

今年の夏はヨーロッパ各地で西ナイル熱の流行が発生しています（ヨーロッパ CDC 2018-9-21）。9月20日までにEU諸国の患者数は1,134人にのぼっており、昨年の3倍以上の数です。とくにイタリアで453人、ギリシャで224人と患者数が多くなっています。西ナイル熱はイカに媒介されるウイルス性疾患で、一部の患者は脳炎などをおこし、死亡することもあります。有効なワクチンや治療薬はなく、予防には蚊に刺されない対策をとります。イカは夜間吸血する習性があるため、流行地域で夜間外出する際には、皮膚を露出しない服装をしたり、昆虫忌避剤を使用してください。

**（6）米国・ニューヨークの空港で呼吸器症状の患者が多発**

ニューヨークのジョン・F・ケネディー空港で、9月5日にサウジアラビア・メッカから到着した飛行機の乗客・乗員約100人に、咳や嘔吐などの症状がみられました（ProMED 2018-9-6）。このうち10人はインフルエンザと診断されましたが、残りの乗客・乗員は心理的な影響で症状をおこしていたようです。メッカでは8月24日まで大巡礼が行われており、インフルエンザの流行がみられていました。

## ・日本国内での輸入感染症の発生状況（2018年8月13日～2018年9月2日）

最近 1 ヶ月間の輸入感染症の発生状況について、国立感染症研究所の感染症発生動向調査を参考に作成しました。出典：  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2018.html>

（1）**経口感染症**：輸入例としては細菌性赤痢 10 例、腸管出血性大腸菌感染症 5 例、腸チフス・パラチフス 2 例、アメーバ赤痢 5 例、A 型肝炎 3 例、ジアルジア症 1 例が報告されています。細菌性赤痢は 3 例が東欧のベラルーシでの感染でした。

（2）**蚊が媒介する感染症**：デング熱は 22 例で、前月（10 例）より大幅に増えました。このうち半数の 11 例がフィリピンでの感染でした。チクングニア熱は 2 例で、タイとフィリピンでの感染でした。マラリアは 5 例で、アフリカでの感染が 3 例、アジア（パキスタン、韓国）が 2 例でした。韓国では北部の江原道、京畿道で夏に三日熱マラリアの流行がおきます。

（3）**その他**：麻疹が 2 例（フィリピンとベトナムで感染）、百日咳が 1 例（フィリピンで感染）報告されています。

## ・今月の海外医療トピックス

### 旅客の「臭い」で緊急着陸

今年 5 月、オランダからスペインへ向かった旅客機が、「臭い」が原因で緊急着陸しました。ある乗客の「臭い」で、周囲の乗客が嘔吐や失神をする事態に陥ったそうです。

<https://metro.co.uk/2018/05/31/man-smelled-bad-flight-cabin-crew-tried-quarantine-plane-diverted-7595559/>  
飛行中の機内は 2 分毎に換気され、1 回の換気には、機内と機外の空気が半分ずつ利用されます。2009 年の新型インフルエンザ流行以降、多くの機体がヘパフィルターを搭載しており、機内の換気は皆さんが想像するより良いものです。しかし、飛行中は座席とトイレの移動以外、ほぼ自由がききません。開かない窓に精神的な「閉塞感」を感じる人もいます。「臭い」や「閉塞感」に対する閾値は人それぞれですが、それらから起こる健康被害の拡大が懸念されるため、機長は緊急着陸を判断したのです。「臭い」から逃れられない「閉塞感」が、旅客の健康を害する状況に陥らせたわけです。今後、航空業界でもこうした問題への対応が必要になることでしょう。（医師 栗田 直）

## ・渡航者医療センターからのお知らせ

### **（1）第 21 回渡航医学実用セミナー「海外勤務者の健康管理対策～実務編」（当センター、海外邦人医療基金共催）**

今回は「海外出張者の健康管理」の具体的な対応策について、日本渡航医学会産業保健委員会から報告します。まだ、席が少々残っておりますので、ご興味のある方は是非、ご参加ください。

- ・日時：2018 年 9 月 26 日（水） 午後 2 時～午後 4 時半
- ・会場：東京医科大学病院 6 階 臨床講堂
- ・対象：職種は問いません
- ・参加費：無料
- ・定員：約 200 名
- ・プログラム：下記の当センター H P をご参照ください。  
<http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/seminar.html>
- ・申込方法：下記の海外邦人医療基金のホームページからお申込みください。  
[http://www.jomf.or.jp/osirase/notice.html#2018/08/30\\_00](http://www.jomf.or.jp/osirase/notice.html#2018/08/30_00)

### **（2）ジャムズネット東京勉強会（ジャムズネット東京主催）**

今回の勉強会は「ドイツの芸術療法」と「スイスの高齢者ケア」をテーマに下記の日程で開催します。ジャムズネット東京会員が対象の勉強会ですが、会員以外の方も参加できます。

- ・日時：2018 年 10 月 11 日（木） 午後 6 時～午後 7 時 20 分
- ・会場：東京医科大学病院 6 階 第 3 会議室
- ・詳細はジャムズネット東京のホームページをご覧ください。<https://www.jamsnettokyo.org/>